

## 1. 事業内容・目的

四万十市・天神橋商店街の旧土豫銀行跡地を「にぎわい拠点」として活用し、拠点を中心とした継続的なにぎわいを創出することで、周辺の商店街や地域全体への波及効果をもたらし、地域の活性化を図る。

- ・気軽に活用できる開かれたコミュニティスペース及び話題性のある飲食スペースを併設した施設による多様な人々がいつでも集える場所の提供
- ・定期的なイベント等の企画・実施による継続的な「にぎわい」の創出
- ・周辺商店街との連携による「にぎわい」の相乗効果を創出
- ・地域住民が自慢したくなる場所を創造することによる口コミ効果及び官民が連携する積極的な情報発信を通じた内外への周知・観光客への誘客等

## 2. 施設整備の概要

### ○四万十市・天神橋商店街の遊休地を活用した集客の拠点施設の整備

- ・中心市街地のオアシスとなる緑豊かな広場やイベント等で活用可能なステージを備えた公共スペース
- ・施設の顔となるテラス等を併設したカフェ(直営)
- ・県内外の有力な飲食店を誘致した屋台(4店舗程度)
- ・バリアフリーの公衆トイレ

○事業費：138,322千円（国（商店街活性化・観光消費創出事業）：87,527、  
\_県：22,801、市：22,801、その他：5,193）



## 3. 実施スケジュール

- H30. 9～H31.3：実施設計
- H30.10～H31.3：四万十市中心商店街活性化計画の策定
  - ※H30.10商店街組合を中心に「中心商店街活性化協議会」設立（協議会メンバー：四万十にぎわい商店(株)(事業実施主体)、周辺商店街組合、四万十市(事務局)ほか)
  - ※計画の策定にあたって、産振アドバイザー制度を活用
- H31.4：国事業の申請
- H31.5～H31.6：専門家派遣事業の実施（国事業必須要件）
- H31.6：県補助金の申請
- H31.7：国事業・県補助金の審査
- H31.9～H31.10：入札・工事着工
- H32.3：工事完了・プレオープン
- H32.4：オープン

